



2022年2月3日

各 位

会 社 名 シンフォニアテクノロジー株式会社
代 表 者 代表取締役社長 齊藤文則
(コード番号 6507 東証 第一部)
問 合 せ 先 総務人事部 総務秘書グループ長
中村達也
(TEL 03-5473-1800)

業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2021年10月22日に公表した連結業績予想及び配当予想について、下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

なお、当社は個別業績予想については公表しておりませんが、前期実績値との対比において、その差異が適時開示の基準に該当する見通しとなりましたので、あわせてお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想の修正について

(1) 2022年3月期通期連結業績予想数値の修正 (2021年4月1日～2022年3月31日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に 帰属する 当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|--------------------------|--------|-------|-------|-------------------------|----------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円銭 |
| 前回予想 (A) | 94,000 | 5,900 | 5,800 | 4,000 | 139.43 |
| 今回修正予想 (B) | 96,500 | 6,900 | 6,800 | 4,800 | 167.32 |
| 増減額 (B-A) | 2,500 | 1,000 | 1,000 | 800 | — |
| 増減率 (%) | 2.7 | 16.9 | 17.2 | 20.0 | — |
| (ご参考) 前期実績 (2021年3月期) | 87,312 | 4,891 | 4,810 | 3,677 | 124.51 |

(2) 修正の理由

通期連結業績予想につきましては、半導体製造装置向け機器と振動機器の需要が好調に推移したことにより、売上高は前回予想を上回る見通しです。損益面につきましては、売上高の増加と販売費及び一般管理費の減少により、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益は、いずれも前回予想を上回る見通しです。

2. 配当予想の修正について

(1) 2022年3月期の配当予想

| | 年間配当金(円) | | |
|--------------------|----------|-----|-----|
| | 第2四半期末 | 期末 | 合計 |
| 前回予想 | 0円 | 35円 | 35円 |
| 今回修正予想 | 0円 | 45円 | 45円 |
| 前期実績 (2021年3月期) | 0円 | 35円 | 35円 |

(2) 修正の理由

当社は、配当につきましては、継続的かつ安定的に実施していくことを基本としつつ、株主の皆様の利益と、企業体質の強化及び今後の事業展開のための内部留保の充実、先行きの収益状況を勘案して利益配分を決定することとしております。

2022年3月期の期末配当金につきましては、業績予想の修正を踏まえ、前回予想の1株当たり35円から10円増額し、1株当たり45円に修正いたします。

3. 個別業績予想について

(1) 2022年3月期通期個別業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

| | 売上高 | 経常利益 | 当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|----------|--------|-------|-------|----------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円銭 |
| 前期実績(A) | 64,981 | 3,427 | 2,964 | 100.37 |
| 今回予想(B) | 73,000 | 5,200 | 3,900 | 135.95 |
| 増減額(B-A) | 8,018 | 1,772 | 935 | — |
| 増減率(%) | 12.3 | 51.7 | 31.6 | — |

(2) 前期実績との差異が生じた理由

通期の個別業績予想につきましては、半導体製造装置向け機器、振動機器やFA用電磁クラッチ・ブレーキの需要が好調に推移したことにより、売上高は前期実績を上回る見通しです。損益面につきましては、売上高の増加により、経常利益、当期純利益は、いずれも前期実績を上回る見通しです。

(注) 上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報により作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以上